


## 令和3年度 研究サマリー

研究会名称	腎不全研究会	
代表者所属	東海大学医学部腎内分泌代謝内科	
代表者氏名	深川 雅史	
研究方法・結果	<p>本研究会は、腎不全の発症と進展の防止を前提とした腎不全病態の解明と新たな治療法の創出を目的として発足いたしました。腎不全の発症や進展のメカニズム、それを防止する治療法の研究、腎不全に伴う合併症の発症機序の解明と治療法の開発、新たな血液浄化療法の開発などが新しい角度から大いに進展することを企図いたしまして、尿毒症病態研究会、腎不全病態治療研究会として活動を続けてまいりました。さらに平成22年度より、これまで蓄積した基盤を引き継ぎ、更に発展させることを目的として腎不全研究会を設立し活動を続けております。</p> <p>令和3年度は、武本佳昭先生（大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学）、田中哲洋先生（東京大学大学院医学系研究科腎臓・内分泌内科／現・東北大学大学院医学系研究科腎・膠原病・内分泌内科学分野）を代表世話人として、第11回年次研究会を開催いたしました。本来は令和2年に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大状況を鑑みて一年延期しての開催となりました。また会期前に再拡大の兆しがあったためハイブリッド形式（現地／ライブ配信）にて開催いたしました。</p> <p>*プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・指定講演「腎臓・血液浄化領域で期待されるAIの役割」 花房 規男 先生（東京女子医科大学血液浄化療法科）</li><li>・一般演題12題 うち、会長賞2題、特別奨励賞2題を選出</li><li>・ランチョンセミナー1題</li></ul>	
研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）		